吾岡山の公園化一歩前進

環境整備推進会「覚書(案)」を了承

ジェット機就航のために、五十六年一月から三月にかけて、山頂を約六㍍カットされた吾岡山。

吾岡山は別名「鯨山」とも呼ばれ、周辺住民には昔から親しまれてきた山でもあります。

その跡地の公園化問題について協議している「大篠地区周辺環境整備推進会」（長野正文会長）の常任委員会が一月二十七日、市役所五階会議室で開かれ、公園化のために必要な再カット工事に関する「覚書(案)」を全会一致で了承しました。

再カットが行われ、公園化が予定されている吾岡山

吾岡山の公園化問題は、地元の了承によって一歩前進、周辺住民の根強い運動が実りかけたと言えそうです。

この日は県空港整備事務所、市企画財政課から担当職員も出席。覚書(案)作成までのいきさつや内容について説明を受けながら、各条項について検討を加えました。

覚書(案)は七条から成り、①再カット工事は標高約四五㍍ラインまで行う②工事は五年間をめどに南国市が行い、工事限度額は三千万円で県が三分の二を補助する③取付道入口の橋の工事は県が行う④再カット後、日本セメントの所有地（約七万二千平方㍍）は、南国市に無償譲渡する⑤工事終了後、市は吾岡山の公園化事業を行う、などの内容となっています。

この日、これらの覚書(案)について地元が了承したことにより、日本セメント㈱の了解を取り付ければ、二月中にも県、市、日本セメント㈱、地元推進会の四者で調印式が行われ、今年の十月ごろから再カット工事が始まることになりました。

また、県は入口の橋の架設工事を五十八年度予算ですぐにでも着工し、年度内に完成したい、としています。

吾岡山の公園化は、再カット終了後土地の所有権の移転（日本セメント㈱→南国市）をしてからとなり、それまでに地元推進会と県、市の間で公園の具体的な規模について話し合いが進められることになりました。

市民待望の公園化は、ようやく五年後に現実性を帯びることになり、その進展に期待したいものです。

吾岡山に関するこれまでの動き

▼五十四年十二月――航空法による保安上の理由から、吾岡山の切り取り（法カット）が新空港開港の絶対的条件となり、地元住民の大きな問題となる。

▼五十五年九月――大篠地区周辺環境整備推進会が結成される。大篠小の改築（防音対策）、吾岡山カット後の公園化、周辺の環境整備の三大目標を県、市に要望。

▼五十五年十二月――「ジェット機就航までに大篠小の改築と香長中の防音工事を行う」という運輸省の回答を受け、地元推進会は吾岡山の法カット（五七・四三㍍ライン）を事実上了承。

▼五十六年一月―法カット工事始まり、三月下旬完了。

▼五十七年八月――香長中防音工事完了。

▼五十八年三月―大篠小の普通教室がすべて完成。

▼五十八年十月――大篠小特別教室（音楽室、家庭科室、図書室、理科室、図工室）の工事始まる。（完成は五十九年三月）

▼五十八年十二月――ジェット機就航。

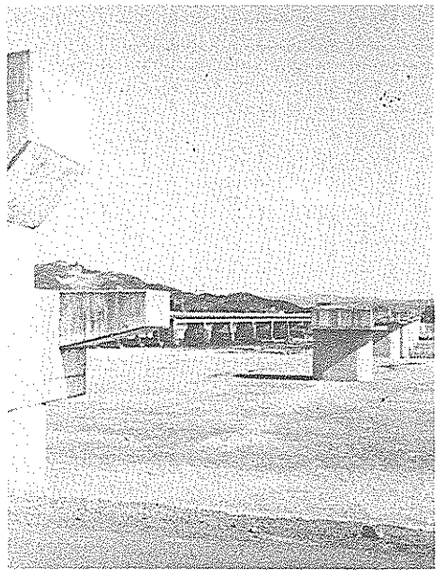
▼五十九年一月――大篠地区周辺環境整備推進会（常任委員会）を開く。かねてから協議中の吾岡山公園化について県、市を交えて協議。大すじで「覚書(案)」を了承。

大篠地区周辺環境整備推進会は、組織の名称を「吾岡山周辺環境整備推進会」に改め、環境問題、公園化について地区民の意見を結集し、活動していくことになる。

第3セクター加入結論出ず

阿佐線対策特別委、現地調査へ

市議会の阿佐線対策調査特別委員会（高島邦明委員長ら委員十二人）は、今年に入って三回目の委員会を一月二十七日に開き、第三セクター加入問題について協議しました。



物部川に建つ阿佐線の橋脚

阿佐線沿線の関係市町村は十五市町村。うち十三市町村について は、すでに第三セクター加入の同意を示しており、残るは本市と一自治体が態度保留となっています。

この日は県東部開発促進会の安岡一会長や岡村安芸市長（同協議会副会長）らが特別委員会を訪問。「第三セクター設立のタイムリミットが迫っている。東部開発のために阿佐線が必要なので、南国市の理解と協力がほしい」と要請しました。

このあと、特別委員会は協議に移りましたが、前回の特別委員会（一月十九日）で、県空港輸送課の経営指針の説明に対して委員の間では「需要予測、経営収支の算出があまい。車の利便性に鉄道が勝てるか。民間二社との競合問題がある。後免町駅周辺の都市計画の妨げになるおそれがある。本市へのメリットはあるのか」など厳しい意見が出されました。

特別委員会では、第三セクター加入のタイムリミットが迫っているものの、今後①民間二社の意見を求める②関係地区民の意見を聴き、現地調査を行う、などを決め、本市へのメリットを探っていくことになりました。

第三セクター加入に対して、本市が負担する出資金、赤字負担金をどこまで受け入れられるか、市議会阿佐線対策調査特別委員会の調査、結論が注目されます。

図書館講演会…受講生を募集中

市立図書館では、高知大学教授・岡林清水先生を招いて、次のとおり講演会を開きます。市民のみなさんの聴講をお勧めします。

◪とき・3月18日(日)、午後1時～2時半。

◪ところ・市立図書館

◪演題と講師

〝ふるさとの文学〟

岡林清水先生（高知大学教授）

◪申し込み・参加を希望される方は、葉書に「講演会参加希望、住所、氏名、性別、年齢、電話番号」を記入して、三月十二日までに申し込んでください。

申込先・〒783南国市東崎一三五五「市立図書館」

※定員に余裕がありますので、多くの方の参加をお願いします。

〝ふるさとの文学〟　講師・岡林清水先生

大篠女学院生徒募集

市立大篠女学院（昭和二十六年旧大篠村設立）は、服装全般の知識、技能を授け、女性としての教養を高めてもらおうと設立されたもので、今までに多くの卒業生を社会に送り出し、成果を上げてきた伝統のある学院です。

五十九年度から、学則の一部変更を行い、新しい時代にふさわしい学習内容として、次のように生徒を募集します。

〈科目〉　洋裁科、和裁科、編物科、専攻研究科

〈入学金〉

市内の方＝一万円

市外の方＝二万円

〈授業料〉　各科＝八千円（月額）

〈入学日〉　四月九日（月）、毎月入学もできます。

〈入学申し込み〉　入学当日まで受け付けます。

詳しいことは、大篠女学院（南国市下野田、市農協野田支所北側）☎(54)2224へお気軽にどうぞ。